

船舶事故調査報告書

平成25年4月11日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（岩）
発生日時	平成24年8月15日（水） 04時20分ごろ
発生場所	熊本県津奈木町犬瀬崎北方の海岸 津奈木町所在の肥後大泊港防波堤灯台から真方位004° 2,000m付近 （概位 北緯32° 15.5′ 東経130° 25.9′）
事故調査の経過	平成24年8月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 第2 ^{たかし} 隆丸、3.7トン KM3-70242（漁船登録番号）、個人所有 9.71m（Lr）×2.59m×0.66m、FRP ディーゼル機関、110.30kW、平成9年6月
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 60歳 旧一級小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年4月20日 平成18年12月11日をもって失効していた。
死傷者等	重傷 1人（同乗者B）、軽傷 1人（同乗者C）
損傷	船首部先端に圧壊、船首部（喫水線上）に亀裂を伴う擦過傷
事故の経過	<p>本船は、操縦者が1人で乗り組み、同乗者A、同乗者B及び同乗者Cの3人を乗せ、平成24年8月15日04時00分ごろ津奈木町^{おおどまり}大泊漁港を出港し、操縦者が操舵室の後方に立って手動操舵に当たった。</p> <p>本船は、大泊漁港から北西方に位置する熊本県天草市^{ごしよら}御所浦島方面に向かう予定で津奈木湾から犬瀬崎西方沖を航行中、04時20分ごろ犬瀬崎北方の海岸の岩に衝突した。</p> <p>操縦者は、本船に備え付けのGPSプロッターを使用しておらず、本船が右に回頭しながら航行していることに気付かなかった。</p> <p>同乗者B及び同乗者Cは、後部の機関室カバーの上に座っており、衝突により船首方向に投げ出された。</p> <p>本船は、衝突後、自力航行して大泊漁港に入港し、同乗者B及び同乗者Cは、救急車により病院に搬送され、同乗者Bが肋骨、鎖骨、胸</p>

	椎圧迫骨折などと、同乗者Cが頭部打撲などとそれぞれ診断された。
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期</p> <p>日出時刻：05時42分</p> <p>月出時刻：03時08分（月齢：26.4）</p>
その他の事項	<p>本船は、自然に右へ回頭する直進性が悪い船舶であった。</p> <p>操縦者は、同乗者Aから本船を借りたので、本船の直進性が悪いことを知らなかった。</p> <p>同乗者Aは、航行中、操縦者のそばに立って話をしたり、操舵室に入ったり、出たりしていたが、衝突時は操舵室の中にいた。</p> <p>同乗者Aは、周囲は真っ暗で何も見えなかった。</p> <p>同乗者Aは、操縦免許がなかった。</p> <p>本事故の発生場所は、操縦者の記憶を基に調査が行われ、事故発生から約1か月後に判明した。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、犬瀬崎西方沖を手動操舵で航行中、操縦者が、暗夜で周囲が見えない中、GPSプロッターを使用せず、目視により見張りを行って航行していたことから、本船が右に回頭しながら航行していることに気付かず、犬瀬崎北方の海岸の岩に衝突した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、津奈木湾から犬瀬崎西方沖を手動操舵で航行中、操縦者が、暗夜で周囲が見えない中、GPSプロッターを使用せず、目視により見張りを行って航行していたため、本船が右に回頭しながら航行していることに気付かず、犬瀬崎北方の海岸の岩に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間においては目視だけに頼らず、備え付けのGPSプロッターを活用して船位の確認を行って航行すること。